

新報

發行所 福島縣平野町新報社
電話 五五五
郵政 第五四七番

壯麗裡に行はれた磐中參拾回卒業式

縣立磐城中華學校參拾回卒業式は去る七日午
別拾時半より同校講堂に於て來賓交立在席の列席の
下にいと盛かに舉げられた。式次第大略左の如く
ある。

職員生徒入場 父兄來賓入場 縣知事臨場 校旗
入場 一同起立 敬語奉讀 唱詞 告別式 若
代合唱(二回) 一同起立 敬語奉讀 唱詞 告別式
會及賞状授與 校旗 一同起立 敬語奉讀 唱詞 告別式
吉氏同窓會長講辭 守次氏同窓會長講辭 卒業生代表
答辭 卒業生代表 卒業生代表 卒業生代表 卒業生代表
職員退場 縣知事退場 父兄來賓退場 職員退場 校旗退場
明治卅四年三月の第一回卒業生計六百三十一名を
出した事になつて居り第一回の四十三名と比して四倍
半の多きになつて居る。

國を離れて民なく 日本人たるを體し 櫻花の如く個性を發揮すべし



大學の卒業生は遠年其の數
を増加して然るも卒業生
の數は之に伴はず卒業生
即ち就職資格は即ち任官
時代の已に過去の事實とな
り終りたりと思ふに此現象
に終りたりと思ふに此現象
に終りたりと思ふに此現象
に終りたりと思ふに此現象

同窓二千五百友に代り 建國の宏謀を體し 國家に貢獻を希む



養は自己を創造して人格の由來我國は干戈を以て
修養品性の陶冶につとむる由來我國は干戈を以て
修養品性の陶冶につとむる由來我國は干戈を以て
修養品性の陶冶につとむる由來我國は干戈を以て

磐中魂を持し 帝國の進運に貢獻せん

卒業生一同に代りて答ふ

今日我等卒業生の爲に斯くてもありません只五年間に
も盛大なる卒業式を挙げ知らず知らず受けて来た精
神を以て、この時、御座いますか、我等は今日此の
春、

中野呉服店

電話六十七番

春衣

新製品宣傳大賣出し
春の御召物の御用意は今御用意の程を
錦紗小紋 美さを御召
京都一流の特製品(海岸線一手販賣)
羽二重九帯 片側帯地
江戸襷 村山大島
― 其他豊富取揃へてあります ―
伊勢崎 春の新柄優美飾仙陳列「於階上」
足利 八王子
着尺モスリンと友仙モスリン陳列「於新館」

三井呉服店

海岸線 平町

服洋製既秀優

近代人の欲求は
安くて
直ぐ間に合ふ
型のくつね
ハイクラズドレーマード
(春服入荷)
店服洋やかふ
三〇二話電・二平

液體空氣會社製

吸入用酸素酸素吸入器
(酸素含有量百分中)
(東京工業試験所證明)
正確体温器
寒暖計開内藥局
電話四〇番

X光線科

平南町
電話二二九番

山野邊米店

電話呼出七三四

生徒募集廣告

- 一、願書提出期限 本年四月六日まで
- 二、入學生 高等小學校卒業以上トス
- 三、入學生 本年四月九日 必ず出校スベシ
- 一、本 科 一、百名
- 二、普通科第一學年 一、五百名
- 一、第二學年 若干名

産婆看護婦生徒募集

修業年限産婆看護科ヲ通ジテ一ヶ年
願書四月八日迄(可成至急)
(自炊の便あり)
平町一丁目
石城産科看護婦學校
電話三五七番

平陽女學校

募集人員
本科第一部 二ヶ年卒業 五十名
本科第二部 三ヶ年卒業 五十名
技藝高等科 二ヶ年卒業 五十名
同 專攻科 一ヶ年卒業 三十名
入學手續
右各科共入學許可ス希望者ハ
入學願書二履履書ヲ添ハ三月末
日迄二本校宛提出ノコト
○四月四日午前十時入學式舉行
○學則請求ノ方ハ郵券二封入ノコト
福島縣平野町
文部大臣 平陽女學校
電話四四四番

平警察署の門前燈は赤色

平警察署の門前燈は赤色で紅化し新平郵便局の票字は白化したのであらふ

祝衆議院議員當選比佐昌平先生



比佐昌平氏

祝衆議院議員當選比佐昌平先生 平町 木田藤次郎「録水」

平商校十回卒業生氏名

- List of graduates of Heiwa Commercial School, including names like 石猪崎, 石川, 長谷川, etc.

磐崎小學校



長梅 氏則正田柴

Text related to Heiwa Junior High School, mentioning dates and activities.

磐中創立三拾五年紀念事業

Announcement regarding the 35th anniversary of Heiwa Middle School's founding, dated March 5, 1925.

平新報社



木村氏歐米視察談概要

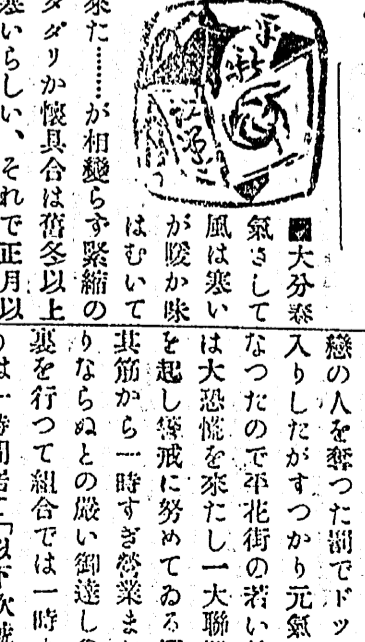
Summary of Mr. Muro's observations from his trip to Europe and America, discussing infrastructure and social conditions.

Continuation of the summary, mentioning specific locations like London and New York, and comparing them to Japan.

Further details of the observations, including mentions of 'Luzerne' and 'Rosendahl'.

Additional notes and observations from the trip, discussing local customs and infrastructure.

Final part of the summary, concluding with thoughts on the differences between the West and Japan.



Text accompanying the illustration, possibly a notice or advertisement.

霜の朝

霜の朝 第六ノ二 大平ナヲ子 千々鳴く雀に起されて出

霜の朝 第六ノ二 大平ナヲ子 千々鳴く雀に起されて出

霜の朝 第六ノ二 大平ナヲ子 千々鳴く雀に起されて出

霜の朝 第六ノ二 大平ナヲ子 千々鳴く雀に起されて出